

共立高等看護学院第34期生戴帽式



34期生戴帽式おめでとう



2012年11月10日 本学4階講堂

学院長挨拶

上嶋准嗣

第34期生の皆さん 戴帽式おめでとうございます。入学して早や7ヶ月が過ぎました。多くのことを学び、病院実習も経験し、ようやく看護学生らしくなり、学校生活にもなれてきたことと思います。戴帽式はそのような中で大きな節目となる式です。入学後の半年間を振り返り、気持ちを新たに明日からの歩みの出発点にする、そんな一日であることを願っています。

当学院の戴帽式は、誰かが用意してくれたものではなく、皆さん自身が考え、悩み、ぶつかり、涙しながら創り上げたものです。実行委員会を中心に大変だったことでしょう。しかし、だからこそ意味があり、想いで深いものになるのだと思います。

長期実習に入った2年生、国家試験が迫ってきた3年生も自分たちの戴帽式を想い出しながら、皆さんを見守ってくれています。今日の日が素晴らしい戴帽式になることを信じています。

しかし、まだまだこれからです。先は長く、行く手には様々な困難や悩みが待ち受けていることでしょう。私達教職員一同も、青春まったただ中の皆さんをしっかり受け止めて格闘していく覚悟です。「栄光への架け橋」へは簡単に到達できません。勉強が趣味、遊びより実習の方が楽しいという人は殆どいませんよね。苦しくて、頑張っただけの乗り越えてこそ達成感があり成長があります。それが修業というものです。「mission」無理なく進級せよ、「私には追加します。無理をしても進級せよ、と。『あー！頑張るぞ34期生！』の言葉を添えてお祝いの挨拶とします。



成長の場となった戴帽式

担任 中込英利香

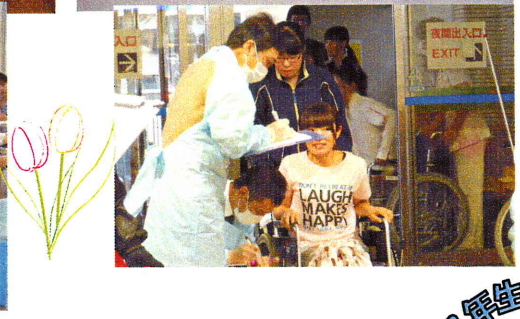
「手作り戴帽式、感動した。」「良いものを見せてもらった。」戴帽式の後の教員との懇談会での御家族の感想です。

共立高等看護学院34期生39名の戴帽式が11月10日に行われました。戴帽式を行う看護学校が減少していますが、共立高看では多くの時間を戴帽式の準備に費やします。入学以降の自分自身を振り返り、かけがえないクラスの仲間である事を実感し、看護師への道をあらためて決意する節目であるからです。クラスでは自分達らしい戴帽式にするため悪戦苦闘しながら、色々な人達から助言も得て、誓いの言葉を作り上げました。歌の練習は集中して取り組み、声を出していききました。キャンドルの持ち方、歩き方、お辞儀の仕方等を接遇の先生の指導を受けながら何度も練習しました。その中で、意見を出し合い、ぶつかり合いながらもクラスとしてひとつになっていく貴重な経験をしました。式を作り上げる過程で、お互いを認め支えあう大切さを学ぶことができ、クラスとして一歩成長できたのではないかと考えています。

今後も御家族や講師、友人、教員や実習先で出会う様々な方々に支えられての学校生活が続きます。思わぬことで周囲を困惑させる事もあるでしょう。しかし、一人一人が未来の看護を切り開いていく人材です。あたたかく見守り、手を貸していただきたいと思います。看護師への道を歩むことの決意をあらたにした34期生を私達職員一同、精一杯応援していきます。

上段一左、中、右：戴帽式準備

下段一左：朝日町えびす講祭 中：校内実習 右：災害看護授業



最終学年への大きなステップ、長期実習真最中!

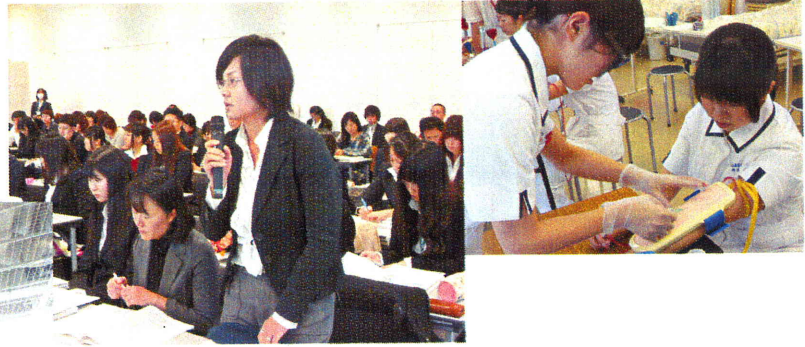
副担任 藤本未央

2年生は学生自治会活動や学校行事を中心に担っています。戴帽式では在校生を代表して激励の言葉を贈り、2月には3年生の国家試験壮行会を実施します。卒業研究発表会でも積極的に質問する姿があります

10月から各論実習が開始されました。これまでの実習では主に内科疾患を患っている成人期、老年期の患者様を受け持たせて頂きました。しかし、この実習では外科、小児科や産婦人科と新たな専門科の実習を行います。その中では、手術見学、出産への立ち会いなど多くのことを経験します。初めての長期実習に戸惑うこともあると思いますが、この実習を乗り越えてまた一回り大きく成長した2年生に出会えることを楽しみにしています。

また、この実習は2月まで続く、長期実習となります。実習中は睡眠不足になりやすく、冬の寒さも加わり特に体調を崩しやすくなるため、ご家族の皆さんのサポートをよろしくお願い致します。





卒業研究発表会でがんばって質問中!

3年生コーナー

成長実感した卒業研究発表会

担任 成島美里

12月18・19日に第32期生卒業研究発表会が開催されました。発表されたレポートは、一人一人が患者に真摯に向き合い看護を展開した様子が伺え、その中から自己の看護観を構築することができていました。3年間の集大成として胸を打つものであり、32期生の成長を確認できる場になりました。このような学生の学びや成長には、実習指導者をはじめとする臨床の皆様の指導、そしてご家族のサポートがあったからであると感謝しています。また、発表会を成功させるために、レポート作成から当日の運営まで、仲間を思いやり励まし合いながら作り上げていく姿には、担任として大変嬉しく感じました。

また2日目には、看護学生や看護師にとって大きな存在である、川嶋みどり先生(日本赤十字大学名誉教授、健和会臨床看護学研究所所長)による「看護の時代を担うあなたへ〜人間が人間をケアすることの意味と価値〜」というテーマでの記念講演が行われました。医療現場での看護の独自性、キュアからケアの時代へ、看護の力が果たす大きな可能性について話され、これから臨床に出る3年生だけでなく、1年生2年生、そして教員にとっても勇気と深い感動が



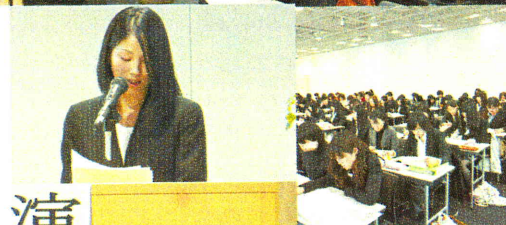
共立高等看護学院 第32期生 卒業研究発表会



川嶋先生を囲んで



川嶋みどり先生



演

は看護を愛していますか?」と問われ、全員が改めて看護を見つめ直す機会になりました。32期生は、いよいよ国試一色になります。全員合格に向けて全力でサポートしていききたいと考えています。

朝日町えびす講祭りに教職員、1年生合わせて11名で参加しました。
景品付きクイズ、オイルマッサージで楽しんで頂きました(1/1/23)



父母の会

- 3年生を励ます国家試験激励カラーライスを作ります！1月30日(水)午前9時半に3年生の役員さんは共立高看に集合。御昼ごはんに食べて頂きます。盛り付けもします。
- 戴帽式後の1年生部会
会長さんの挨拶に続き戴帽式の感想、この半年間の家庭での学生さんの様子、御家族の悩みや心配等を出し合い、教員の先生方と意見交換しました。
1年生の戴帽式にはナースウォッチと記念写真を全員に贈呈しました。(11月)
- 次の御役員会は3月頃になります。2年生の御家族の方で父母の会に御協力いただける方を募っています。学校へ連絡をお願いします。

◇共立高看 教職員活動報告◇

10月	全日本民医連看護・介護活動交流集会 演題発表：成島 細田 共同研究参加：押領司 看護学図書執筆 梶原
11月	山梨県看護協会看護学会運営委員会 押領司
12月20日	授業研究(リフレクション)
3月9日	山梨民医連学術・運動交流集会3演台応募

予定

12/18~	冬季休暇
12/25(~27)	スキー(保健体育)
1/8	前期一般入学試験
2/7	後期一般入学試験
2月中旬より	期末試験
2/17	第102回看護師国家試験
3/8	32期生卒業式
3/9	学術・運動交流集会
3/19、23	入学前オリエンテーション
3/25	看護師国家試験合否発表

〔後期一般入試御案内〕

出願：2013年1月16日～2月2日
試験：2013年2月7日(木)
合否発表：2月14日(水)

〔32期生卒業式と謝恩会の御案内〕

2013年3月8日(金)
卒業式午前10時半 共立高看4階講堂
謝恩会午後6時半～ アピオ

編集後記：さざんかの花が寒風の中で、健気に咲いている季節になりました。2012年も残りあとわずかとなりました。今年も本学院に広範囲の方々からのご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。12月の選挙で、政権が再び交代し、医療・福祉・景気・雇用対策への不安解消に繋がる政治になるかは疑問が残ります。そんな若者の雇用の不安定さを反映してか、本学院は近年に見ない受験者数の増加があります。そんな渦中にある在校生が看護師資格取得への道乗りを、各学年、一生懸命頑歩んでいる姿をお届けいたしました。それぞれのお立場からのエールに繋がれば幸いです。来年度も引き続きのご協力とご愛読の程よろしくお願い申し上げます。編集委員代表 三浦